

## 東松島市内小・中学校の夏休みについて

- 1 東松島市の今年度の夏休み期間について  
7月21日（日）から8月21日（水）までの32日間
- 2 夏休み期間中の学力向上に向けた主な取組

### メディアコントロールへの取組

令和元年7月5日付けで 教育委員会教育長・小中学校長会会長・PTA連合会会長・青少年健全育成市民会議会長の連名で、市内小中学校保護者宛て「児童・生徒の健全なメディアコントロールへの取組について」の通知文書を配付しました。

（別紙資料のとおり）

スマホ・ゲーム等の適切な利用について、保護者に啓発するとともに、児童生徒自身にも考えさせ、家族内で目標を持たせることで、喫緊の課題である児童生徒のスマホ・ゲーム機等の長時間使用の弊害を訴え、改善を図ります。

各学校では、夏休みの事前指導時にメディアコントロールの指導を強化します。

### イー脱っ子学習会の開催

児童生徒の主体的な学びを支援するため、夏季学習会を市内3会場で開催。

（東松島市コミュニティセンター・小野市民センター・柳北有明集会所／10日間）

地域の学び相談員のほか、東北大学、石巻赤十字看護専門学校、石巻専修大学などの学生ボランティアが学び支援員として参加し、子どもたちの学習活動の支援を行います。

### 小学校での夏休み学習会の実施

学習ボランティアにも協力してもらい、1学期の復習や自主学習の指導を行います。

また、学力下位層の児童への個別の補充的な学習指導を実施します。

### 自学・自習のための教室解放

中学校では、生徒が自学・自習を行う場として、教室等を開放します。

エアコン設置により、快適な学習環境が確保されています。

### 教員の授業力向上のための研修会の実施

学校毎の校内研修に加え、教師自らの授業実践力の向上と幅広い人間性を磨くことを目的に教育委員会主催の「教師塾」を年7回実施していますが、7月29日（月）には、Q-U検査（学級満足度・学校生活意欲度検査）の結果を活用した指導法に関する研修会を大学から講師を招き、実施予定です。

令和元年7月5日

東松島市立小・中学校保護者 各位

東松島市教育委員会教育長 志小田 美弘  
東松島市立小中学校長会会長 仲上 浩一  
東松島市PTA連合会会長 熱海 光太郎  
東松島市青少年健全育成市民会議会長 櫻井 一義

## 児童・生徒の健全なメディアコントロールへの取組について（お知らせ）

向暑の候、保護者の皆様にはお健やかにお過ごしのことと拝察申し上げます。また、日頃から、学校教育及び地域の活動に際し、ご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、スマートフォン（以下スマホ）などのメディア機器は、今や私たちの日常生活に身近なものとなっております。しかしながら、小・中学生の時期に適切な使用の仕方を身に付けておかなければ、生活習慣の乱れだけでなく、多くのトラブルや犯罪等の被害にあう危険性もあります。

つきましては、コミュニティ・スクールとしての機能を生かし、行政、学校、保護者、地域が一体となって下記の取組を推進していきたいと考えております。趣旨をご理解のうえ、ご家庭でもお子様と十分に話し合い、しっかりしたルールを決めるなど、児童生徒の健やかな成長のために特段のご協力をお願い申し上げます。

### 記

#### 1 メディアコントロールとは

- 映像メディア（スマホ、ゲーム機、タブレット等）の利用時間や効果的な使用の仕方を自己コントロールすること。

#### 2 東松島市小・中学生の実態（全国学力・学習状況調査の結果より）

- ① 平日の放課後に家でゲーム・インターネットをして過ごす割合（平成30年度調査結果）
    - 小学生……84.9% 中学生……74.5%
  - ② 週末（休日）に家でゲーム・インターネットをして過ごす割合（平成30年度調査結果）
    - 小学生……89.7% 中学生……85.5%
  - ③ 平日にゲーム（スマホのゲームを含む）をする割合（平成29年度調査結果）
    - 小学生ゲーム 1時間未満……36.3% 2時間以上……44.2% 4時間以上……15.6%
    - 中学生ゲーム 1時間未満……32.0% 2時間以上……48.3% 4時間以上……18.2%
- ※ 1時間未満には「所持していない」も含まれます。また、休日の利用割合は更に増える傾向にあります。

#### 3 ゲーム、スマホ等の利用過多による主な弊害

- ①就寝・起床時刻が遅くなる
  - ②集中力の低下、視力低下の原因になる
  - ③家庭での学習時間が不足する
  - ④人間関係のトラブルや悪質サイトによる犯罪に巻き込まれる 等
- ※ これまでの調査結果から、ゲームをする時間が1時間以内の子と3時間以上の子では、学力検査の結果が大きく違ってくるというデータが示されています。また、1時間以内であれば適度な気分転換等になるものの、長時間のゲーム・スマホの利用は、発達期の子どもの脳に悪影響を及ぼすという医学的見解もあります。

#### 4 今後の家庭での取組（例）

- 情報機器にまったく触れずに生活することは困難です。各家庭でルールを決め、メディアを適切に利用できる力をつけることが大切です。その目安として、次のような取組を推進します。お子様の現状を判断し、市全体でチャレンジしていきましょう。

レベル1	午後9時以降はノーメディア	就寝時刻を定め生活リズムを整える
レベル2	メディア1日1時間	時間を有効に使い、生活にけじめをつける
レベル3	下校後はノーメディア	メディア以外の学習、読書、家族との会話等に時間を使う
レベル4	1日ノーメディア（必要以外）	メディアに頼らず1日の生活リズムを設定する
レベル5	適切に自己コントロールして使用	必要に応じて最低限使用するなど自己コントロールして使う

※ 学校ごとに振り返りの内容や方法を工夫していきますのでご協力をお願いします。